

令和7年度 農作物病害虫発生予察12月月報

令和8年（2026年）1月5日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
12.1	8.2	8.4	△ 0.2	13.8	13.8	0.0	3.9	3.8	0.1
12.2	7.2	7.3	△ 0.1	15.4	12.6	2.8	1.5	2.9	△ 1.4
12.3	7.0	6.6	0.4	11.0	11.7	△ 0.7	2.3	2.2	0.1
12.4	9.0	6.1	2.9	15.8	11.2	4.6	3.8	1.8	2.0
12.5	9.9	5.7	4.2	14.3	10.9	3.4	4.7	1.4	3.3
12.6	4.5	5.2	△ 0.7	9.1	10.5	△ 1.4	0.5	0.9	△ 0.4
平均・計	7.6	6.6	1.1	13.2	11.8	1.5	2.8	2.2	0.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
12.1	0.0	13.5	△ 13.5	20.7	20.7	0.0			
12.2	0.0	13.0	△ 13.0	34.1	19.4	14.7			
12.3	20.5	11.3	9.2	15.3	18.3	△ 3.0			
12.4	6.0	10.1	△ 4.1	20.8	18.0	2.8			
12.5	10.0	10.0	0.0	20.7	18.6	2.1			
12.6	3.0	11.5	△ 8.5	17.0	23.3	△ 6.3			
平均・計	39.5	69.4	△ 29.9	128.6	118.3	10.3			

II 作物の生育状況

- (1) キャベツ : 定植以降の気温が高めに推移したことから、例年より生育が前進しており、12月以降は出荷量がかなり多くなった。今後も、安定的に出荷が続く見込み。
- (2) イチゴ : 花芽分化が平年より若干遅れたことから、かおり野の出荷は平年より若干遅い12月上旬から増加した。2番果は多くの地域で開花～果実肥大期に入っており、1月以降も順調に出荷が続く見込み。

III 病害虫の発生状況

1 普通作物

2025年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ダイズ (収穫物被害調査:21ほ場)	発生ほ場率52.4%(平年26.4%)、発病粒率1.9%(平年0.5%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 42 中 42 少 376 計 460
紫斑病			
べと病	発生ほ場率42.9%(平年21.9%)、被害粒率0.8%(平年0.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 376
ウィルス病	発生ほ場率0%(平年3.2%)、被害粒率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	-	-
サヤムシガ類	発生ほ場率9.5%(平年15.7%)、被害粒率0.1%(平年0.1%)で平年並みであった。	県内全域	少 84
シロイチモジマダラメイガ	発生ほ場率4.8%(平年6.8%)、被害粒率0.0%(平年0.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 42
マメシンクイガ	発生ほ場率19.0%(平年16.3%)、被害粒率1.4%(平年0.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 125 少 42 計 167
フタスジヒメハムシ	発生ほ場率85.7%(平年91.0%)、被害莢率4.9%(平年7.3%)、被害粒率3.9%(平年4.1%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	多 42 中 209 少 501 計 752
吸実性カムシ類	発生ほ場率100%(平年80.1%)、被害粒率17.8%(平年6.7%)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚多 125 多 251 中 418 少 84 計 878

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ (調査ほ場数:中旬10、下旬7)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年4.2%)、発病株率3.0% (平年0.4%)、発病度0.8 (平年0.1) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 40
黒腐病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年7.1%)、発病株率5.1% (平年0.4%)、発病度1.3 (平年0.1) で平年に比べ多かった。		
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年10.0%)、発病株率1.4% (平年0.7%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年15.2%)、発病株率1.7% (平年0.8%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 54

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では発生は場率0%（平年4.5%）、発病株率0%（平年1.3%）、発病度0（平年0.3）で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は場率0%（平年3.7%）、発病株率0%（平年2.2%）、発病度0（平年0.6）で平年並みであった。	—	—
萎黄病 軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
イチゴ (調査は場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生は場率0%（平年7.5%）、発病株率0%（平年0.7%）、発病果率0%（平年0.2%）で平年に比べ少なかった。	—	—
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は場率5.0%（平年15.5%）、発病株率0.1%（平年2.2%）、発病葉率0%（平年0.7%）、発病果率0.0%（平年0.2%）で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 5
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生は場率5.0%（平年1.4%）、発病株率0.1%（平年0.0%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は場率5.0%（平年1.0%）、発病株率0.1%（平年0.0%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生は場率0%（平年5.0%）、発病株率0%（平年0.2%）で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生は場率50.0%（平年25.2%）、寄生株率12.1%（平年4.4%）で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚多 5 少 38 計 48
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生は場率30.0%（平年30.5%）、寄生株率11.6%（平年9.4%）で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚中少 5 計 29
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生は場率15.0%（平年2.5%）、寄生株率0.3%（平年0.1%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少 14
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生は場率0%（平年20.0%）、寄生株率0%（平年2.8%）で平年に比べ少なかった。	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生は場率5.0%（平年0%）、寄生株率0.1%（平年0%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5

2025年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生は場率10.0% (平年9.0%)、寄生花率0.2% (平年0.6%)で平年並みであった。 主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	中 少 計
			5 5 10

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp